

【国際経済】吉見 太洋 ゼミ



2018 年度演習 1 の様子（誕生日）

2018 年度演習 2 の様子（シンガポール現地調査）

演習テーマ：均衡為替レートの研究

<活動内容>

均衡為替レートとは、経済を均衡させるような為替レートのこと、端的に言えばその時の経済状況における適切な為替レートのことを言います。過去のゼミではゼミ生に自主的にテーマを選んでもらっていましたが、今年度は実験的に、テーマを絞って進めてみたいと思います。「為替レートはどう決まっているのか?」「日本にとって適切な為替レートはどのくらいなのか?」「円高・円安の基準はいくらくらいなのか?」といった問いに興味のある学生を募集します。

以下のような活動スケジュールを考えています(ただしゼミ生の要望や興味を踏まえて変更することもあります)。

● 演習 1(2 年次通年)

- 前期は為替レートの決定理論に関する勉強を、後期は実証分析の実習を行います。ともに指定の教科書に基づくゼミ生による発表形式で進めてもらいます。

● 演習 2(3 年次通年)

- グループごとにテーマを決めて 1 年間研究します。夏休みには研究テーマに関連する現地調査を実施します。研究の成果は、学内あるいは学外のゼミと行うインターゼミ、海外の大学との合同研究発表会などで発表してもらいます。

● 演習 3(4 年次半期)

- 「演習 2」で進めた研究をベースに各自が演習論文を執筆します。

<ゼミ紹介>

私が中央大学でゼミを担当するのは、2019 年度で三年目となります。まだ歴史の浅いゼミですので、学生の皆さんにも色々と提案をもらいながら進めていけると嬉しいと考えています。当然のことですがゼミ活動の軸は勉強と研究です。したがって、経済や経済学のことをしっかり勉強する意欲のある学生に来て欲しいと思っています。ただし、ゼミの持つ意味はそれだけではなく、ゼミの同期や先輩・後輩とのつながりも、皆さんの将来にとって大変有益なものとも考えています。よって、現地調査や懇親会等の課外活動にも積極的に参加・貢献してくれる学生を歓迎します。